



アートプロジェクトで拓く 介護と福祉の参加支援

1. 講演

- ▶ **地域型アートプロジェクトの系譜と現在**
熊倉 純子氏 東京藝術大学 教授
- ▶ **ケア×アートのコミュニティ～文化的処方 of 拠点づくり～**
伊藤 達矢氏 東京藝術大学 教授
- ▶ **アートエンゲージメントと Well-being**
野口 泰司氏 国立長寿医療研究センター 主任研究員

2. ディスカッション

- (事例提供)
「うめだアートリンク」の参加支援
吉田 武司氏 NPO法人音まち計画
堀 崇樹 足立区社会福祉協議会
- (討論者)
上条 百里奈 ユアハウス弥生
二瓶 さやか 十文字学園女子大学

日時

2024年7月20日(土) 13:00~16:00 定員75人

同日開催 [当日参加者対象 エクスカーション] 10:30~11:30
「北千住のアートプロジェクトの拠点を歩く」(案内人 吉田武司氏) 定員10人

場所

足立区生涯学習センター(研修室1) 東京都足立区千住5丁目13-5

参加費

1,000円

申込み

会場参加 <https://forms.gle/CmHsFREZP6kXTyMg6>
動画配信 <https://jarcw.jp/convention/lecture/>

問合せ

kaigokanto2021@gmail.com 担当 森山・堀

▼ 申込締切
7月7日(日)

▼ 会場参加



▼ 動画配信



主催 日本介護福祉学会 共催 足立区社会福祉協議会
後援 足立区、東京都介護福祉士会、東京社会福祉士会、埼玉県社会福祉士会、
日本レクリエーション協会、日本地域福祉学会関東甲信越静部会

※動画配信の案内は、学会のホームページを経由します。

近年、介護予防や地域共生社会をめざす諸施策において「社会参加」に注目が集まっています。社会参加支援は介護福祉士の国家試験では「生きがい、役割、趣味、レクリエーションなど」と位置付けられており、日本介護福祉学会でも設立当初から一つのテーマであり続けてきました。

アートが介護・福祉領域で果たす役割については、認知症やフレイル予防、うつや孤立の軽減、介護者支援や社会参加に障壁のある人々のソーシャルサポートの向上など多方面にわたるエビデンスをWHOが発表し、関心が集まっています。

今回、講座の開催地となる足立区では、アートと介護・福祉の協働実践のほか、今後は引きこもりの人や80-50世帯など、重層的支援体制整備事業における参加支援にも取り組んでいくこととしています。

「《生きるに値する》と感ずることのできる一人ひとりの人生を支える社会」を私たちはどのようにしてつくっていくのか。この講座では、福祉にかかわるアートプロジェクトの実践動向を共有したうえで、対話を通じてアートと介護・福祉の連携について考えます。

Art, Care and Welfare

スピーカー

アートプロジェクトで拓く 介護と福祉の参加支援

熊倉 純子 氏

東京藝術大学



東京藝術大学国際芸術創造研究科教授。「取手アートプロジェクト」(茨城県)、「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」(東京都)など、地域型アートプロジェクトに携わりながら、アートと市民社会の関係を模索し、文化政策を提案する。監修書に『アートプロジェクト—芸術と共創する社会』(2014)、『アートプロジェクトのピアレビュー—対話と支え合いの評価手法』(2020)などがある。

伊藤 達矢 氏

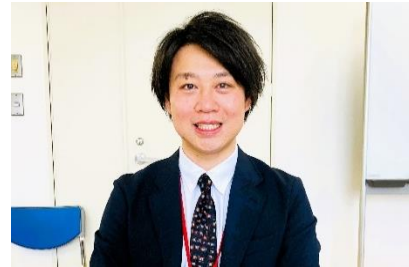
東京藝術大学



東京藝術大学社会連携センター教授。東京都美術館との連携による「とびらプロジェクト」など、多様な芸術文化プログラムの企画立案に携わる。「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点」プロジェクトリーダー。「望まない孤独や孤立」の解決に向けた取り組みを展開している。共著に『ケアとアートの教室』(2022)などがある。

野口 泰司 氏

国立長寿医療研究センター



国立長寿医療研究センター主任研究員。理学療法士、博士(医学)。英国留学中に高齢者のアートエンゲージメントと健康・幸福の研究に従事。主な業績に Art and cultural activity engagement and depressive symptom onset among older adults: A longitudinal study from the Japanese Gerontological Evaluation Study (2022) などがある。

吉田 武司 氏

NPO法人音まち計画

東京藝術大学特任助教。これまでアートNPOや行政職員、中間支援組織など様々な立場でアートプロジェクトに携わる。現在は、足立区のまちなかで展開する「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」のディレクターを務めている。

堀 崇樹

日本介護福祉学会 理事
(足立区社会福祉協議会)

日本大学兼任講師。介護職、行政コンサルタントを経て現職。東京藝術大学、地域のサロン等との連携による「うめだアートリンク」など、アートと介護・福祉の協働機会の創出に取り組んでいる。

上条 百里奈

日本介護福祉学会 評議員
(ユアハウス弥生)

白梅学園大学非常勤講師。老健や特養、訪問介護を経て、小規模多機能型居宅介護に従事。モデル、ドラマの介護監修なども務め、精力的に介護福祉の発信を行なっている。

二瓶 さやか

日本介護福祉学会 評議員
(十文字学園女子大学)

十文字学園女子大学准教授。博士(社会福祉学)。被災地のケアラー、ヘルパーに関する研究、多文化介護実践に向けた国際比較研究、外国人介護職の異文化適応に関する研究などを行なっている。